

学会新ロゴの制定について

日本オペレーションズ・リサーチ学会創立60周年記念事業の一環として、このたび学会ロゴを刷新しましたので、お知らせします。

『OR事典』資料編によると、学会員に広く浸透しているORマークの発祥はIFORSなどで配布する記念品に用いられたものだったそうです。現在もさまざまな場面で用いられていますが、規程やデザインガイドラインが存在せず、学会の顔である機関誌表紙とホームページでさえフォントが異なっています。そこでデザインの明確化に合わせ、学会のブランドイメージを再構築することを目標として、現在の学会を代表する新しいロゴ（以下学会新ロゴ）を制定することといたしました。

デザインで留意したのは、「ORらしさ」「日本らしさ」「展開可能性」の3点です。まず「ORらしさ」です。英文字Oの背後にある点は個々のデータで、それらを線で繋ぐことで「データを重視し、データに語らせる」ORの特徴を表現しています。点は一人ひとりの研究者・実務者の意味も包含し、連携しコミュニティとしてORを実践する学会活動をシンボル化しました。さらにOR分野で幅広く用いられるグラフ・ネットワークモデルも表現しています。二つ目の「日本らしさ」については、点と線を赤く、また全体を円形に配置することで、日の丸をイメージしました。三つ目の「展開可能性」ですが、今回は基本形（日本語・英語の2種類）とシンボルマーク（2種類）の計4パターンを用意しました。シンボルマークと支部名・研究部会名を組み合わせるなど、学会活動のさまざまな場面で活用が期待されます。

2017年度中は移行期間として新旧ロゴが並行使用されますが、2018年4月以降は学会新ロゴへと順次一本化していく予定です。学会員の皆様もぜひ学会新ロゴを有効活用してください（ロゴ利用規程については、学会ホームページ参照）。

最後に、新ロゴ制定にご協力いただいた広報委員会のメンバー、60周年記念事業委員会の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

日本オペレーションズ・リサーチ学会 広報理事
藤本 衡（東京電機大学）

日本オペレーションズ・リサーチ学会ロゴ

（2017年12月制定：2018年4月より本使用開始）

基本形
日本語表記



公益社団法人
日本オペレーションズ・リサーチ学会

基本形
英語表記



The Operations Research
Society of Japan

バリエーション1



バリエーション2



- ・デザインガイドラインおよび利用規程に沿ってご利用ください。詳しくは学会ホームページを参照してください。
- ・Adobe Photoshop形式のデータ、およびPNG形式画像を用意しております。必要な方は学会事務局または広報委員会までお問い合わせください。